

普及啓発の実践について

1. 発信していること

患者・回復者の存在、ハンセン病という病気について、ハンセン病対策の歴史、療養所はどんな所か、患者・回復者の生活や文化、患者・回復者個人の人生、館の活動、私たちににとっての“学び”の例 など

2. 用いている手段

展示を見てもらう（常設展示、企画展示）
 話を聞いてもらう（語り部活動、講演会、シンポジウム）
 見ながら話を聞いてもらう（展示解説、フィールドワーク）
 映像や実演を見てもらう（動画の上映、芝居の上演、音楽の演奏）
 読んでもらう（展示図録、研究紀要、資料館だより、年報、絵本の発行）
 自分で作ってもらう（資料貸出、画像提供、施設貸出）
 自分で調べてもらう（レファレンス対応、図書館機能、ホームページやメールマガジンでの情報提供）

など



当館に許されている手段の内、発信する内容に適したものを選択して提供。手段の選択肢の多さが博物館の強み。

3. 7つの機能の相関と普及啓発

展示機能	教育啓発機能	管理・サービス機能	情報センター機能
調査研究機能			
収集保存機能			
企画調整機能			

普及啓発

国立ハンセン病資料館の入館者数について（平成28年10月末現在）

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）							
月	個人入館者数	団体数	団体入館者数	合計入館者数	開館日	1日平均	摘要
4月	1,839	37	1,730	3,569	26	137.27	
5月	1,615	29	1,565	3,180	25	127.20	
6月	1,233	53	1,642	2,875	26	110.58	
7月	1,664	50	1,450	3,114	27	115.33	
8月	1,597	35	1,103	2,700	25	108.00	
9月	853	45	1,509	2,362	25	94.48	
10月	970	48	1,797	2,767	26	106.42	
11月				0			
12月				0			
1月				0			
2月				0			
3月				0			
合計	9,771	297	10,796	20,567	180	114.26	

（参考：旧高松宮記念ハンセン病資料館開館からの年間入館者数）

年度	入館者数	年度	入館者数	備考
5	8,036	17	5,190	(高松宮記念ハンセン病資料館時)開館時間13:00～16:00 休館日 月曜日・金曜日・祝祭日
6	8,635	18	0	17年7月から拡充のため休館
7	9,013	19	21,120	18年度拡充のため休館・19年4月1日再開館
8	10,981	20	23,044	
9	10,128	21	21,881	
10	10,416	22	22,515	
11	9,835	23	22,441	
12	10,250	24	24,957	
13	16,078	25	25,805	
14	14,517	26	27,705	
15	13,164	27	32,370	平成5年度～平成27年度入館者数 360,664
16	12,583			

重監房病資料館の入館者数について（平成28年10月末現在）

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）							
月	個人入館者数	団体数	団体入館者数	合計入館者数	開館日	1日平均	摘要
4月	85	10	532	617	21	29.38	
5月	492	11	400	892	23	38.78	
6月	251	15	230	481	22	21.86	
7月	363	20	700	1,063	27	39.37	
8月	550	14	441	991	25	39.64	
9月	325	29	506	831	25	33.24	
10月	501	27	613	1,114	26	42.85	
11月				0			
12月				0			
1月				0			
2月				0			
3月				0			
合計	2,567	126	3,422	5,989	169	35.44	

年度	入館者数	年度	入館者数	備考	
5	/	17	/		
6		18			
7		19			
8		20			
9		21			
10		22			
11		23			
12		24			
13		25			
14		26		8,393	
15		27		6,025	平成26年度～平成27年度入館者数 14,418人
16					